



バウンドテニス



<p>バウンドテニスとは</p>	<p>ラケットボールを原型にテニスと同様のルールで狭い場所でも気軽に行え、運動量も十分にあるスポーツです。</p>
<p>起源・歴史</p>	<p>1980年(昭和55年)、メルボルンオリンピックのレスリングで金メダルを獲得した笹原正三氏によって考案開発されました。 バウンドテニスの「バウンド」とは、ボールがよく弾むことと英語のバウンダリー(限られたスペース)に由来します。</p>
<p>遊び方・ルール</p>	<p>ルールは、ほぼテニスと同様で、4ポイント先取(3-3でデュース)、9ゲームマッチで行われます。 ダブルスの場合には、卓球と同じく4人が必ず交互に打ちます。</p>
<p>その他</p>	<p>コートのはさは、3m×10m(テニスコートの1/6の面積) ネットの高さは約50cmで、場所を選ばないのが特長です。 競技性をもったシングルス・ダブルスの他、1分間に何回ラリーが続くかを競う、大人数で楽しめるチーム対抗の「BTラリー戦」という種目もあります。</p>

